

# 東高通信

令和3年度 2月号

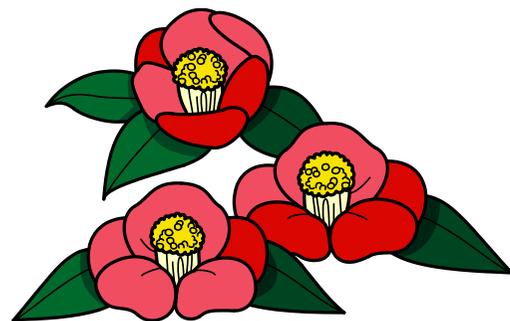
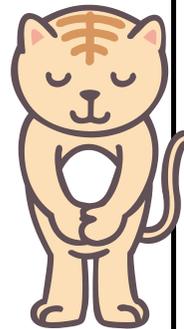
今月の内容  
・2月の予定  
・学年より

国公立大学の2次試験が始まります。3年生は毎日目標へ向かい努力しています。頑張っている3年生の姿を1・2年生はしっかりと見て、来年、再来年の自分のために、今何ができるか、何をすればよいかを考えましょう。

日	曜	学校行事等	学年・進路・生徒指導	生徒会・部活動関係
2月				
1	火	【45分授業】		
2	水			
3	木			
4	金			
5	土	土曜学習会		
6	日			
7	月			
8	火			
9	水			
10	木	学年末考査①		
11	金	建国記念の日		
12	土			
13	日			
14	月	学年末考査②		
15	火	学年末考査③		
16	水	学年末考査④		
17	木	学校評議員会		
18	金	PTA役員会③		
19	土			
20	日			
21	月			
22	火			
23	水	天皇誕生日		
24	木			
25	金	ワックスがけ(3年)	国公立大学前期日程試験(～26日)	
26	土			
27	日			
28	月	表彰式		

## 前期選抜入試期間(3月)中の予定

2日(水) 短縮1～4校時 13:40～生徒校舎内立入禁止  
 3日(木)～4日(金) 生徒校地内立入禁止  
 5日(土)～6日(日) 生徒校舎内立入禁止  
 7日(月)～9日(水) 生徒校地内立入禁止  
 \*追試験不実施の場合は、9日(水)は授業日  
 10日(木) 授業日  
 11日(金) 生徒校地内立入禁止  
 12日(土)～13日(日) 生徒校舎内立入禁止  
 14日(月) 13:30まで生徒校舎内立入禁止



## 学年より

ここからが大事

3年1組担任 佐藤 直子

40期生、一人も追試験の受験を申請することなく共通テストを受験することができました。保護者のみなさま、学習面や精神面でのサポートをしてくださった先生方、雪かきや消毒・換気など、校舎内外の環境整備にあたってくださっている先生方や職員のみなさま、本当にありがとうございます。3月まで、どうぞよろしくお願いいたします。

大手予備校によると、今回の共通テストの7科目総合の平均点は、センター試験時を含めて過去最低になると予想されています。なかでも数学ⅠAは、これまで最も低かった年よりも約10点低いと予想され、コロナ対策や強風による交通機関の乱れと合わせて、かつてない大変な受験となりました。悔しい思いをした人がたくさんいたと思います。けれども、がんばったことは決して無駄になっていないし、無駄にしないことが大事なのだと思います。その経験と今回の得点をいかして、次に進む最善の方法をいっしょに考えていきましょう。

私立大の過去問にあった「宮大工の育て」という文章のなかの「失敗を糧にできるかどうかで、人は伸びるし、失速もする。」という部分が印象に残り、共通テスト明け最初の授業で扱いました。演習の前に、文系のみなさんに共通テストの振り返りを書いてもらいましたが、自分の気持ちの甘さに気づいたり、勉強のしかたを素直に反省したりと、それぞれの成長を感じるものばかりで、3年間がんばったことは、こうして人を成長させるんだなと実感しました。40期の国語の進め方についての感想や意見も詳しく書いてくれました。それらは、必ず今後に生かします。なかには、優しいコメントを添えた通知票を私の方がもらったような気持ちになるものもあり、2次対策・私大対策に向けて、そしてその後も全力でがんばろうと改めて思いました。

この東高通信が発行される頃、40期のみなさんは国公立大の出願先もほぼ決まり、私立大の受験に向けても追い込みをかけているでしょうか。最後の最後まであきらめなければ、後悔することにはなりません。センター試験で予定通りとれなかった先輩は、これまでもたくさんいました。マークがずれて50点近く失っても、合格可能性のある遠くの国公立大学を受験して合格したある先輩は、この春、高校時代から目指していた仕事に就くことが決まって福島に戻ると連絡をくれました。第2志望の大学に進んで4年間努力し、納得できる仕事に就く予定の先輩もたくさんいます。共通テストは通過点に過ぎないので。

40期生、これから受験本番を迎えるみなさんも、すでに進路が内定しているみなさんも、仲間と励まし合い、支えてくれる人への感謝の気持ちを力に変えて、自分が今やるべきことに全力で取り組んでください。私達も精一杯応援します。ここからが大事です。



私は次男坊なので、結婚して本家から離れ分家「安齋家」の初代となったとき、父から大事に持っておくと、掛け軸を一幅受け継いだ。当時は、それを気にもとめず押し入れの奥にしまっておいたが、引っ越して福島へ戻ってきたとき、その掛け軸を広げてみた。本家三代目のじっちゃんの直筆で、はじめ何て書いてあるのか分からなかったが、短い文なので古文書の字形などを見よう見まねで調べ、判読できた。

それには、「堅忍・気に入らぬ風もあろうに柳かな」と書いてあった。この言葉も、調べてみると江戸時代後期の臨濟宗の僧、仙厓義梵(せんがい・ぎぼん)の作とされる狂歌といわれるものだった。そのまま訳せば～人生、気に入らないこともあるだろうが、風の吹くまま柳のように受け流せばよい～とのことである。私も、毎日の仕事や生活の中で苦しいこと、辛いこと、嫌なことなどがあっても、この歌の柳のようにユラリ、ユラリと何食わぬ顔でかわしていける心の余裕を持ちたいものだと、はじめは思っていた。

しかし、この掛け軸、じっくり見て読んでみれば実に奥の深い考えが浮かんでくるのである。それ故、私は私なりに、この掛け軸は「安齋家」の家宝と密かに思っている。それは、この「風に柳」は、かわすだけの柳ではなく、もっと突き詰めてみれば最後には「攻撃もできる(counter force)柳」の意味まで含んだ、人生の生き方を三代目が伝えたく、残した掛け軸なのである。

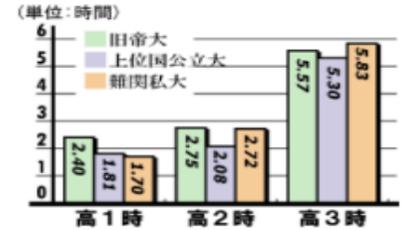
柳の木はしなやかで、東から風が吹けば西へなびき、西から風が吹けば東へなびく。しかし、「柳に雪折れなし」といわれるように柳は決して折れない。よく、表向きに「自分を合わせる」人は「自分がない」といわれる。まあ、そういうケースもあることはある。しかし、その「柔軟性」が本当の強さ故に発揮できることもある。「流される」と「合わせる」は、主体性が全く違うのである。真っ向から対決することも大切だが、何の風に吹かれているか、その風の強さも分からず対決すれば必ず負けてしまう。強い風や重い雪が自分を襲えば、揺れたり凹んだりしてしまう。でも、それを無理に凹まないようにするのは大変だ。人間だから。だったら揺れてみる、凹んでみる、でも耐えてみる。そして、バサッとはねのける反撃のチャンスを待ってみる。そのためには、「曲がっても折れない」自分の力と心がcounter forceになることを、この「風に柳」は教えてくれているのである。

三代目のじっちゃんも、わざわざ掛け軸にこの歌を残し、子孫(私)に伝えたいと思ったのではなからうか・・・なんて、勝手に考えて私の生き方・考え方のより所として、この家宝を大切にしたい。

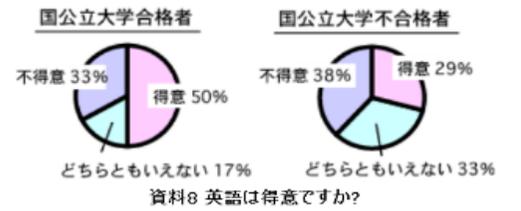


1年生の皆さんは高校に入学してもうすぐ一年ですね。この一年を振り返ってみましょう。

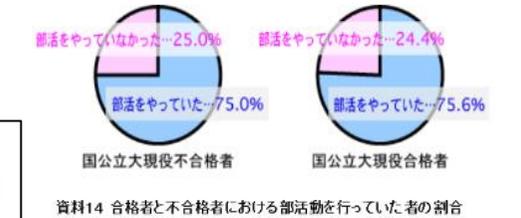
さて、右のグラフは現役大学合格者(2000人)の平均学習時間を表したものの(某予備校調べ)です。国公立大学合格者は、早くから勉強を始めていて、高1で約2時間、高2で約2.5時間、高3で約5.5時間勉強しています。5教科を満遍なく学習するには、一朝一夕の詰め込みでは無理があるということがわかります。



また、国公立大学合格者の約5割が得意教科に英語を挙げています。不得意と答えたのは3割。文理を問わず、合否を分ける鍵を握るのは「英語」。「英語」が攻略できるかどうかにかかっていることがわかります。



次に、国公立大学合格者はどれくらい部活動をやっていたのか? 右のデータを見ると、現役合格者も不合格者もそれぞれ約75%が部活動をしていたとわかります。ここから、部活動は合否に関係ないということもわかります。



これらのデータからわかることをまとめてみると

- 国公立大学へ合格するためには**
- ・高1で2時間、高2で2.5時間、高3で5.5時間の学習時間が必要
  - ・英語を得意教科にしよう。
  - ・部活動は合否には関係ない。一生懸命取り組もう。

